

2026年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】

授業科目名 科目ナンバー	身体構造と介護予防 Ⅲ-6-1-3		教員氏名	宮本 真明		
学年	専攻科		開講学期	後期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	専攻科		実務経験	理学療法士	23年	
テーマ	加齢や疾病による心身の変化と、成人の運動の基礎を学び、介護予防について考える力を習得する。					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○	
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○	
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。					
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	講師は理学療法士として総合病院、介護老人保健施設に勤務。実務経験を元に人の身体構造と高齢者の介護予防について解説します。立ち上がる・歩くのに必要な関節や筋肉の動きなど、子どもの頃より学習する基本的運動に関する知識を踏まえ、実際に高齢者の運動を介助するための実践的経験を積めるように授業を展開します。この授業を通し、高齢者や障がいのある人の自立支援、介護予防やリハビリテーション、また生活上の工夫について考える力を習得することを目指します。					
授業の 到達目標	人の身体構造を理解した上で、対象者の能力を活用した自立支援や介護予防の方法を説明できる					
	高齢者に生じやすい心身の変化について説明でき、認知機能検査を実施できる					
	要介護となる原因疾患を学び、介護状態を改善するための方法を討論できる					
テキスト	講義プリントを配布します。					
参考書	指定なし。必要な資料は講義にて配布します。					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する					
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グループクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する					
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・ 筆記試験	0				
	授業内課題 ・発表等	50	質疑や討論への参加状況(30%)、小テストの成績(20%)			
	参加度・ 学習態度等	40	実技演習とグループワークでの態度(40%)			
	その他	10	授業外での課題レポート(10%)			
再試験	行わない	行わない 場合の 理由	毎回の講義の細かい要素の合計により単位認定を判定します。授業期間内に複数回の評価機会を設けているため、定期試験および再試験は行いません。			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	授業の概要と要旨(オリエンテーション) なぜ介護予防が必要なのかを考えよう	
	授業外学習	自分が65歳以降の20年間に、どのような人生を送りたいかイメージしておく。 どのようにすれば、そのイメージが実現できるか考えておこう。	55分
第2回	テーマ 内容	基本動作を行う上で重要な身体構造① 「立ち上がり動作」について考えよう 子どもと高齢者のバランス制御の違いを考えよう	
	授業外学習	椅子から立ち上がる時に最初に動き出す身体部位はどこか、自らの運動を通して考えておこう。	55分
第3回	テーマ 内容	基本動作を行う上で重要な身体構造② 「起き上がり動作」について考えよう	
	授業外学習	自分はどのように起き上がっているか、自らの運動を通して考えておこう。 高齢者が起き上がりやすい方法はどのような方法か、またそれはなぜかについて考えてみよう。	55分
第4回	テーマ 内容	基本動作を行う上で重要な身体構造③ 「歩行」について考えよう	
	授業外学習	杖や歩行器の種類、使用方法について具体的な対象者をイメージしながら考えておこう。 歩行補助具(杖・歩行器)にはどんな種類があるか予習しておこう。	55分
第5回	テーマ 内容	要介護となる原因疾患① ～認知症編～ (授業内課題プリントあり)	
	授業外学習	認知症はどのようにしたら予防できるか考えよう。 もし今の自分から記憶力がなくなったら、どんな気持ちになるか考えてみよう。	55分
第6回	テーマ 内容	高齢者施設でのレクリエーションについて考えよう:グループワーク	
	授業外学習	多人数を対象としたレクリエーションにはどんなものがあるか調べておこう。 実習前の準備として、高齢者のレクリエーションにはどんな目的があるか考えておこう。	55分
第7回	テーマ 内容	要介護となる原因疾患② ～脳血管障害編～	
	授業外学習	右手が動かなくなったことを想定して、お風呂に入ってみよう。 どんな動作ができなかったかリストアップしてみよう。	55分
第8回	テーマ 内容	褥瘡予防:車椅子シーティング、ベッド上のポジショニングについて考えよう 車椅子駆動について考えよう	
	授業外学習	自分が座ったことのある椅子やベッドで、一番心地の良かったものを思い出しておこう。 また、なぜ心地よかったのか考えてみよう。	55分
第9回	テーマ 内容	腰痛予防 ～介護職として働き続けるために、自らの腰痛を予防しよう～	
	授業外学習	移乗動作を介助する時、自分の体がどのように動いているかに視点をあてて考えてみよう。	55分

第10回	テーマ 内容	要介護となる原因疾患③ ～整形外科疾患編～	
	授業外学習	脊髄損傷で生じる障害について下調べしておこう 膝が曲がらなくなったことを想定して、階段を登ったり降りたりしてみよう。	55分
第11回	テーマ 内容	高齢者の運動能力と日常生活動作能力を測定しよう	
	授業外学習	屋外歩行の自立に必要な歩行速度はどれくらいか考えてみよう。 駅や公園、横断歩道で歩いている人の速度を見てみよう。	55分
第12回	テーマ 内容	介護予防プログラムを立案してみよう ～模擬症例を提示してのグループワーク～	
	授業外学習	今までの授業内容を振り返り、立ち上がりにくい人に対してどのような運動を勧めるか考えてみよう。	55分
第13回	テーマ 内容	急性期・回復期・維持期のリハビリテーションの概要と地域包括ケアシステム	
	授業外学習	高齢者が地域で生活していく上で、どのような課題があるか考えておこう。	55分

課題に対するフィードバックの方法

授業内で不明点があれば随時質問を受け付けます。また、授業時間外ではメールでの質問も受け付けます。
小テストについては誤った箇所があればその場で修正し、解説を加えます。